

2026年4月23日

国立大学法人筑波大学

未来の課題に挑戦する大学院プログラム 誕生へ

筑波大学は全く新しい大学院のあり方である、筑波大学大学院「学際創成学術院」(G-SIGMA)の開設に向け、4月16日、文部科学省に申請を行いました。

本学術院は、本学の指定国立大学法人構想、および第4期中期目標・中期計画で掲げられているもので、2027年4月の開設を予定しています。

本学術院では、「近い将来、月面開発が行われるようになった際、技術的な課題解決と併せて、月面の土地の所有権をどう考えるべきなのか」、あるいは「AIが収集した医療データを活用した研究開発に際して、その使用と保護の境目はどうあるべきか」といった、既存の大学院では対象となりにくい文理の枠を超えた研究に、今、真剣に取り組むことで、現在や近未来における様々な社会課題の解決に貢献できる人材の養成を目指しています。

本学術院は、次の5つの学位プログラムから構成されます。

創成法学学位プログラム

AIなどの科学技術の進展に対応し、法学・政治学・社会学やその他の学問領域を横断して未来の法制度を研究するプログラム

ソーシャルエコロジー学位プログラム

社会を生態的な動的ネットワークとして捉え、経済学をはじめとする社会科学の視点から先端技術の社会実装と人間社会の本質を研究するプログラム

次世代エネルギー共創学位プログラム

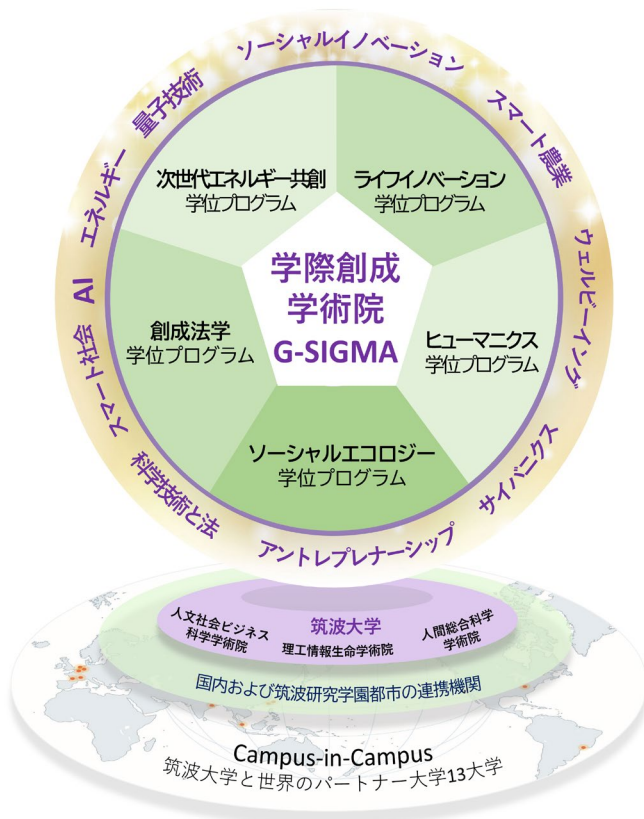
物質科学や情報工学を基盤に、社会実装を見据えてエネルギーや環境技術などを研究するプログラム

ライフイノベーション学位プログラム

ライフサイエンス分野で次世代のイノベーションを切り拓く、病態や創薬、生体分子、食料、環境、生物情報を研究する協働大学院方式のプログラム

ヒューマニクス学位プログラム

医学・生命科学・ロボット工学・情報学を智の基盤として融合し、新たな学問分野を切り拓く先端研究を行うプログラム



また本学術院では、分野横断的に活躍する国内外の先端的研究者や社会で活躍する実務家教員から直接学べる教育研究体制や、複数の教員が連携して学生を育成する「マルチメンター制」を導入します。これにより、「睡眠をサポートするヒューマノイドを開発したい」というような、学生が自らの発想で取り組む、既存の分野を超えた研究を支援します。こうした体制の元で本学術院は、次のような人材の育成を狙います。

知の統合者

既存の学問体系にとどまらず、AI やライフサイエンス、法律、経済などを横断し、社会にない新たな価値を創り出す。

共創実践者

異なるバックグラウンドを持つ仲間と協働し、国際的なネットワークを活かして社会を動かす。

未来創造者

学びを研究室にとどめず、社会へと実装し、未来のルールや仕組みを構想する。



○学際創成学術院 概要

名称：筑波大学大学院学際創成学術院

入学定員：75人（収容定員197人）

開設時期：2027年4月（予定）

公式ウェブサイト：<https://g-sigma.edu.tsukuba.ac.jp/>

【本件のお問合せ先】

筑波大学教育推進部教育機構支援課

E-mail: gm.kyouikukikou@un.tsukuba.ac.jp